

輝人 かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで
“輝く人”を紹介します。
第50回は、
採用教育課 主任の本郷真美さんを
クローズアップします！



本郷さんの
モットー

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」
幼い頃から繰り返し祖母に言われていた言葉です。
今でも少し弱気になった時には呪文のように唱えて、自分自身を奮い立たせています。
強い意志を持って取り組めば必ず成就する！

お客様の心に触れる接客が アカカベの強み。 接客力を武器に 大きな結果に繋げたい。

お客様に安心感を 与えることができる素晴らしい仕事

昨年9月の人事異動で店舗から本部・採用教育課へ異動した本郷さん。年間育成品の販売推進、利益改善のため、アカカベの推売力を強化するべく日々奔走している。店頭の商品を並べれば瞬時に売れる、という普通ではない状況をコロナ禍で経験したわたしたち。平時に戻った今、従業員一人ひとりの推売力が会社を支えるカギとなる。それと共に大切にしたいのが、お客様に寄り添う接客だと本郷さん。「私たちの仕事は、お声がけする一言でお客様、患者様に安心感を与えることができる素晴らしい仕事、普通の接客業とは全く異なると思っています。お客様の心の部分に触れることで得られるやりがいを、店長をはじめ、若いスタッフにも感じてほしいです。カウンセリング機能を伴う医薬品販売については、最近では他業種からの参入も増えて、ますます競争が激しくなっています。他社ではなくアカカベを選んでいただくために、当社の強みである接客接遇を確固たるものにしていきたいと思っています。」

大切にしたい“現場の視点”

異動して間もないころに感じたのは発信することの難しさだったと本郷さん。「店長

本郷 真美
(ほんごう まみ)

2014年1月入社
前職での薬局経験、登録販売者資格を活かしたいと中途入社。入社後の初配属は藤田町店。その後2店舗を経て、2019年にオープンした阿波座店の店長に着任。店長、SSV業務と並行して採用業務も担う。2023年9月21日付で採用教育課に異動、入社10年目を迎え、新たなステージでチャレンジを続ける。

だった時は店舗のメンバーに向けて発信していた年間育成品や月ごとのキャンペーンに関する指示を、全店に向けて発信する立場になりました。店舗によって異なる状況や様々な意見がある中で、それでも会社として取り組むべきことを各店舗で遂行していただくために、伝え方や伝える内容には心を配るようにしています。会社の方向性がある中で、ダメなことはダメと言える力強さと、寄り添う柔軟さ。そのバランスを大切にしていきたいと思っています。」店舗を離れても現場目線を忘れたくないという本郷さん。自分自身も店長として悩み、葛藤した時期があるからこそ、その経験を活かした取り組みができればと話す。「推奨品やキャンペーンの取り組みについては、やらないといけないことはわかっているけど時間が取れない、というのがどの店舗にも共通する悩みだと思います。忙しいみなさんに、5分だけ、10分だけでも時間を取っていただくにはどうすれば良いか。業務改善で新たな時間を生み出すこ

とや、仕組みづくりの部分でバックアップができればと思っています。“売らないといけない”ではなく“売りたい”とさせていただけるような流れを作ることが私の役目だと思っています。」

自分のやりたいことを 我慢しないでほしい

尊敬する人、目指したい先輩として度々名前があがるほど、後輩たちからの信頼が厚い本郷さん。今後のことについてたずねた時、自身のことではなく後輩たちの未来を思う言葉があふれた。「後輩たちには、自分のやりたいことを我慢せずにたくさん挑戦してほしいです。失敗してもいいから挑戦する、挑戦しないと得ることができない達成感や悔しさを経験してほしいと思います。私自身は採用教育課の一員として、みなさんが働きやすい環境を作っていきたく。同僚、そして後輩たちがいきいきと働く姿を見るのが、私のやりがいです!」